

一般質問



木原
議員

○職員研修の必要性について

質 長野県駒ヶ根市の政策課題を研修する機会がありましたので、事例を紹介し、市長の考えを伺いたい。

駒ヶ根市は新市長就任後、庁内に活気がないということから、企業が取り組んでいる経営改革プログラムを導入し行政経営品質向上活動を行っています。組織運営の質を高め、目標やビジョンを明確にして理想的な姿と現状のギャップを認識し、改善を継続的に行うとともに市民の満足度調査の分析と対応を行っています。市長はどのようにお感じでしょうか。

答 駒ヶ根市の取り組みは参考にするところが大いにあると思います。市民の満足度調査を実行し市民目線の問題点を把握することは参考になります。市役所は、市民のために立ち、市民のための仕事をしなければならぬという基本を自覚して業務を遂行していかなければならないと思っています。

○三期目の折返し期を迎えた友広市長の政治姿勢について

質 市長は入庁以来、五代にわたる市長に仕え、重職を歴任され、今市長として10年目となります。重要施策の達成に向けて、持ち前の気配りの上に威厳をもつて取り組み、采配を振るっておられるものと思います。が、大事な場面で自らの指導力や決断力を発揮することを控えれば、職員にもその気概が通じず、いい結果に結びつくはずはありません。威厳をもって強い指導力を発揮してもらいたいと思います。残された任期におけるその決意をお聞かせ頂きたい。

答 これまで議会、市民の皆さまの暖かいご支援ご協力により市政を担わせて頂き、職員の先頭に立って進めたところであります。残されたあと2年の任期を、議会を初め市民の皆さま方の負託に応えられるよう、全身全霊をささげてまいりたいと思っています。副市長、教育長、職員全員が一丸となつてご期待にそえる松浦市政を今後全うしてまいりたいと思っています。

常任委員会の審査概要

総務委員会

【議案】平成27年度松浦市一般会計
補正予算(関係分)

ふるさと納税に関する寄附金の収入額が、当初予算額6千200万円から決算の見込総額2億900万円と大幅な増額補正が行われました。10月1日からふるさと魅力発信係の新設によって効果的な事業が推進された結果、寄附金の額も予想を大きく上回るものとなりました。

あわせて寄附者に対するパンフレット作成費、お礼品送付等の委託料など約1億400万円の事業経費が計上されました。

つて市の保育所運営経費の軽減化が期待されます。今回の改正により市が設置している保育所は、市直営の調川保育所と公設民営の鷹島保育所の2施設となります。

【議案】平成27年度松浦市一般会計
補正予算(関係分)

中学校施設の耐震化事業費として約3億3千万円が計上されました。今回は、今福中学校校舎及び調川中学校屋内運動場施設の耐震補強工事が実施されます。

本市の学校施設の耐震化事業の達成率は、両施設の事業が完成した時点で84パーセントとなります。

文教厚生委員会

【議案】松浦市立保育所設置条例の
一部改正について

この条例は、28年4月1日から今福保育所が完全民営化になることに伴い改正されるもので、民営化によ

産業経済委員会

【議案】平成27年度松浦市一般会計
補正予算(関係分)

水産関係予算として、国が交付する地方創生先行型交付金を活用した離島丸ごとひとつくり事業が実施さ